

ハートフル・とよひら

札幌市立かっこう幼稚園

本園では、豊平区の研究実践園として、子どもたちが幼児期にふさわしい生活を送れるよう、日々研究・研修を積み重ね、学んだ成果を研究便りや HP 等で発信しております。研究・研修事業においては、研究協力園である清田区研究実践園の『認定こども園にじいろ』と連携を図りながら、両区の研究・研修の充実を目指しております。

今年度より、札幌市立幼稚園・こども園 10 園の共通研究主題及び副主題を下記のように掲げ、幼稚園教育要領等を踏まえた教育活動の充実を目指していきます。

☆研究主題 (札幌市研究実践園 10 園 共通)

「質の高い幼児教育の実現に向けて～つながる ひろがる 札幌市の幼児教育」

☆研究副主題 (清田区と共通)

「多様な教育・保育環境における幼児期にふさわしい生活のために」

区内の幼児教育施設や小学校、また保護者の皆様と手を取り合いながら、子どもたちの成長を支える関係者同士が **つながり合い**、幼児期の教育についての理解が **ひろがるよう** 努めていきたいと考えております。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



～「研究の重点」について～

昨年度まで本園では、「“問い”を生み、“対話”や“追及”を生み出す保育の実現を目指して」という研究テーマの基、「深掘りする子」の育成を目指し、そのために有効な環境の在り方について探ってきました。

その研究を通して、以下のようなことが課題として上がりました。

- 目的を見出していく力をもっと育てていく必要があるのではないか？
- 「もっとこうしよう!」という思いをもって、友達と遊びを進めていく力を育むためには、どのような心を動かすような援助(揺さぶり)が必要か？
- 小規模園だからこそできる“異年齢との関わり”をもっと充実させ、互いに学び合うことを目指していく必要がある!

これらを踏まえて、本園の『研究の重点』を下記のように設定し、実践研究を進めていくことにしました。



『研究の重点』

心を動かし、思いをもって遊び込む幼児を育むための

教師の援助・環境の構成について探る

自発的な活動としての遊びを通して、幼児が「やってみたい!」「どうしてだろう?」と **心を動かし、思いをもって遊び込むようになるための教師の援助・環境の構成**について、実践事例をもとに検証していきます。